



# 【アブラキサン+ゲムシタピン療法について】



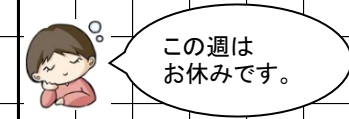
様

コース目



お薬の名前と治療のスケジュール(副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目	
薬の名前	作用	めやすの時間																														
グラニセトン注 デキサート注	吐き気止めです	15分																														
アブラキサン注	抗がん剤です	30分																														
ゲムシタピン注	抗がん剤です	30分																														



## 治療による副作用

注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目		
自覚症状	発熱																															
	悪寒、発熱があるときはお知らせください。																															
	食欲不振・吐き気																															
	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																															
	手足のしびれ																															
手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																																
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																																
髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																																
血管痛・静脈炎																																
点滴の途中に、注射部分やその周りに違和感や痛みなどがあればお知らせください。																																
検査値	白血球減少																															
	感染しやすくなりますので、手洗いがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																															
	赤血球減少(貧血)																															
	貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																															
血小板減少																																
出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																																
肝機能低下																																
体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなることがあります。																																



\* 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。  
 \* 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。  
 \* それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。

